松浦川水系流域治水プロジェクト【位置図】

~豊かな自然環境を育む松浦川水系の地域と一体となった防災・減災対策の推進~

○令和元年東日本台風では、戦後最大を超える洪水により、甚大な被害が発生したことを踏まえ、松浦川水系においても、急勾配で蛇行しながら山間部を流下するため、浸水被害発生時には、氾濫流が河道沿いの道路や農地を高速で流下し、家屋等や交通網への影響が懸念されるという流域の特性を踏まえ、堤防整備や河道掘削等を実施していくことで、国管理区間においては、平成2年7月洪水(整備計画規模)に対して、「決壊」「越水」等による家屋の浸水被害の軽減を図り、これらを上回る戦後最大の昭和28年6月洪水においても、浸水被害の軽減を図る。



松浦川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

~豊かな自然環境を育む松浦川水系の地域と一体となった防災・減災対策の推進~

● 松浦川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市町が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】国においては、唐津市街部での重大災害の発生を未然に防ぐため、徳須恵川下流の築堤等を実施する。県においては、県管理区間の松浦川等の築堤・河道掘削等を実施し、また、土砂・流木の流出抑制 対策を実施する。併せて、ため池の有効活用や森林整備等の氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策、一定規模以上の開発行為に対する貯留施設設置等の義務付け等の「 被害対象を減少させるための対策、避難訓練や、ハザードマップの作成等の被害の軽減、早期復旧・復興のための対策を実施。

【中期】国においては、厳木川中流の築堤、堰・橋梁の改築等を実施する。

【中長期】国においては、厳木川上流、松浦川中流~上流、徳須恵川中流~上流の築堤、堰・橋梁の改築等を実施する。

■河川対策 (約177億円)

■砂防対策 (約16億円)

■下水道対策(約0.6億円)



※スケジュールは今後の事業進捗によって、変更となる場合があります。

松浦川水系流域治水プロジェクト【グリーンインフラ】

~豊かな自然環境を育む松浦川水系の地域と一体となった防災・減災対策の推進~

●グリーンインフラの取組『松浦川水系に息づく希少魚類の生息環境の保全・創出』

- ○松浦川水系は蛇行区間が多く瀬・淵が発達した河川であるため、希少な魚類が生息しアユの産卵場も存在するほか、魚類以外にも豊かで多様な動植物が息づき良好な景観が形成されている等、次世代に引き継ぐべき豊かな自然環境が多く存在している。
- ○スナヤツメ南方種やオヤニラミ等を保全するため、佐里地区や構地区等に代表されるような良好な河川環境を目指し、今後概ね20年間で瀬・淵やワンド・たまり等といった生息環境を保全・創出するなど、自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取組を推進する。

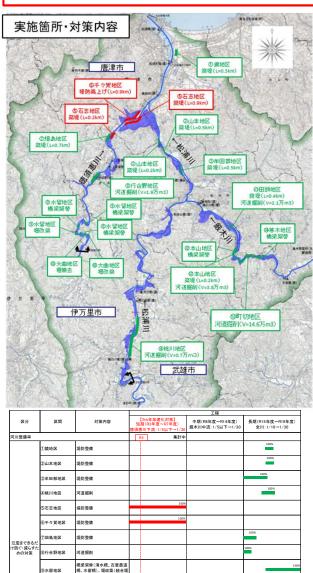


松浦川水系流域治水プロジェクト【事業効果(国直轄区間)の見える化】

~豊かな自然環境を育む松浦川水系の地域と一体となった防災・減災対策の推進~

短期整備(5ヵ年加速化対策)効果:河川整備率 約71%→約74%

徳須恵川下流(唐津市石志地区及び千々賀地区)の築堤事業完了に伴い、平成2年7月洪水規模の洪水を徳須恵川下流部において、HWL以下で流下させることが可能。



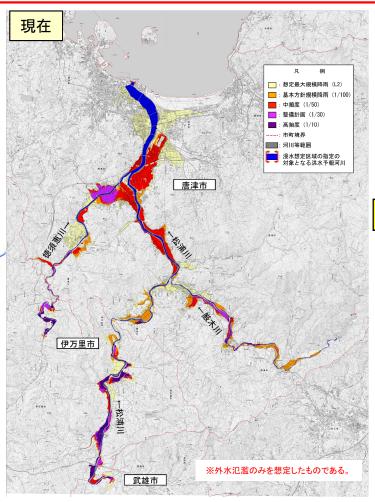
10大曲地区 田頭地区

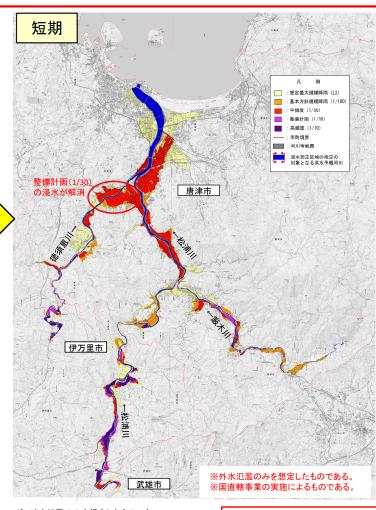
町切地区

是防整備、河道掘削

橋梁架替(樅の木橋)

可道提前





注:外水氾濫のみを想定したものであ り、内水氾濫を考慮した場合には浸水 範囲の拡大や浸水深の増大が生じる 場合がある。

【短期整備完了時の進捗】 石志地区 堤防整備⑤ 0%→100% 千々賀地区 堤防整備⑥

0%→100%

松浦川水系流域治水プロジェクト【流域治水の具体的な取組】

~豊かな自然環境を育む松浦川水系の地域と一体となった防災・減災対策の推進~

戦後最大洪水等に対応した 河川の整備(見込)

整備率:74% 0市町村

農地・農業用施設の活用

(令和4年度末時点)

流出抑制対策の実施



0施設

(令和3年度実施分)

山地の保水機能向上および[、] 土砂・流木災害対策



治山対策等の 実施箇所 **4箇**

(令和4年度実施分)

立地適正化計画における
防災指針の作成



0市町村

(全和4年12日末時占

避難のための ハザード情報の整備



洪水浸水想定 11河川

(令和4年9月末時点) ※一部、令和4年3月末時:

内水浸水想定 1団体

高齢者等避難の 実効性の確保



_{推確保} 洪水 1745

計画 土砂 **130施設** (令和4年9月末時点)

個別避難計画 **3市町村** (令和4年1月1日時点)

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

■ため池の治水利用

【唐津市】

〇唐津市鏡のため池を樋ノ口調整池として整備(唐津市鏡地区)。

【伊万里市】

〇出水期のため池の低水管理及び事前放流の実施(市内のため池は 地区及び水利組合等が管理しており、出水期には満水状態にならない よう低水管理や大雨が見込まれる場合には事前放流を行うなどの周 知、依頼を行っている)。

【武雄市】

Oため池に関し、地元管理者へ低水位管理を依頼。





樋ノ口雨水調整池整備事業(唐津市)

■旧堤撤去

【国土交通省】

〇唐津市石志地区において、引堤完了箇所の旧堤撤去を行い、治水 安全度の向上を図った。





被害対象を減少させるための対策

■一定規模以上の開発行為への貯留義務づけ 【佐賀県】

〇佐賀県では、平成13年5月から、都市計画法改正により、都市計画 区域外の一定の開発行為(面積1ha以上)についても開発許可が必要。 〇開発面積が1ha以上の開発行為については、原則として一時、雨水 を貯留する調整池を設置することを義務づけ。

〇「開発許可申請の手引き」を策定し、開発行為者に指導。

開発許可の手引き

合和3年(2021年)11月

佐賀県 県土整備部 まちづくり課



調整池

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

■防災情報の伝達

【唐津市】

○唐津市防災ラジオは、昔のポケットベルの周波数を使って避難情報、 火災情報などの防災情報を受信する目的で開発された戸別受信機 ○対象地区の希望世帯に1台無償貸与の申請を受付中







文字表示付き防災ラジオ

唐津市防災ラジオ

【伊万里市】

〇災害時や避難指示等の防災情報を、防災行政無線による放送や メール、ホームページ等にて発信。

〇聴覚や視覚に障害がある方、携帯電話を持っていない方には、電話・FAXにて発信。

【武雄市】

〇防災情報をリアルタイムで受け取ることができる武雄市防災アプリ 「たけぼう」を構築

〇市からの防災、災害情報などをアプリで配信





武雄市防災アプリ「たけぼう」